

議会だより

# SHICHIGAHAMA

宮城県七ヶ浜町議会

No.164  
2025.7.31



Café de まちトーク  
みなさんの声が  
聞こえました!



議案審議(P5)

安全安心な  
武道館へ

委員会レポート(P17)

学校施設や  
ふるさと納税を調査

議会報告・懇談会(P18~19)

5月に各地区で開催

# しちがはま議会 Café de まちトーク

with 子ども会育成会



町議会では、より幅広い世代の方から意見をお聞きするため「Café de まちトーク」を開催しました。

7月2日(水)に子ども会育成会31名の皆さんと議員が「七ヶ浜町の子育て環境について～地域で育む子ども達の今とこれから～」をメインテーマに、4班に分かれて、日ごろから感じていることを中心に懇談会を行いました。

今回は、子育て世代の町民の皆さんから、率直な意見をお聞きすることができ、とても有意義な時間となりました。ご参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。出された意見の一部を掲載いたします。

皆さんからの貴重なご意見・ご要望は議員全員で共有し、解決に向けてチーム議会で取り組んでまいります。今後もテーマを設定し、様々な団体の方からご意見を伺いたいと考えております。これからの七ヶ浜のために、一緒に考えてみませんか。



## 【 子育て 】

- 子育て支援センターを土日でも開けてほしい。
- 出産祝い金を他市町のように支給すべき。
- 放課後児童クラブの利用に関して、日割りや月割りでの利用も検討してほしい。
- 保護者の働きやすい環境を作るためにも、病児・病後児保育を検討してほしい。
- 夕方の30分は大きい。放課後児童クラブを19時まで延長してほしい。
- 放課後児童クラブに年度の途中から入るのが難しい。保護者の働きやすい環境のためにも改善してほしい。
- 子どもが夜泣きした際に、車で走行しながら寝かしつけをすることがあるが、疲労で大変。夜泣きサロンの設置を検討してほしい。
- 子ども会活動への参加を希望せず、入会しない家庭も出ているのが現状。



## 【 公共施設 】

- 小中学校の保護者が集まって話し合いをする場として中央公民館で無料開放している交流室を利用したい。
- 町民プールのトイレを洋式にしてほしい。
- 町民プールのロッカーの鍵が壊れている。修繕が必要では。
- 体育館にエアコンを設置してほしい。
- 小・中学校統合のうわさがあるが町の方角性が分からない。

## 【 教育 】

- 松ヶ浜小学校は、進学する中学校が分かれる。以前のように小学校対抗の水泳大会などを開催し、入学前に交流する機会をもつべき。
- 各学校のトイレに生理用品を置いてほしい。一般質問で扱っている記事も見したが、未だに置いていないのは非常に残念。
- 学校の屋外プールが暑い。室内の町民プールの利用を検討してほしい。
- 他県に比べ、学校からの宿題が少なく、学力低下が心配。
- 1クラスになったことで1クラスあたりの人数が増えたが、個人の学力差が広がっているように感じる。全てに目が行き届いているのか。
- 子どもたちの学力や体力低下が心配。
- 子どもの人数が減って、クラス数も減っている。先生も少なくなるので英語等、授業の展開に支障が出てくるのでは。



## 【 まちづくり 】

- 公民館やスポーツ施設利用者に対して、飲食ができる場所がほしい。
- 町外からの観光客のためにも「七のや」のような飲食ができる施設がほしい。
- 町営住宅に入れない。他市町のようにシングルを優先するなどの配慮も必要では。
- 町内には高校がない。交通費助成を検討すべきでは。町側は予算がないの一点張りで、取り組みが見えない。
- 子ども会育成会や区長など地区の役員が高齢化している。若い世代も入ってこれる仕組み作りをしてほしい。



## 【 その他 】

- 相談事がある場合、誰に相談したらいいのか。役場に相談するのはハードルが高い。
- 地区の議会報告会は、発言しにくい雰囲気がある。若いお母さんたちを対象にして地区単位で実施すると若い女性も参加しやすいと思う。
- 本町の交通インフラを考慮すると、自動車免許取得支援金があってもいいのでは。
- 湊浜公園は街灯が少なく、柵も古い。改善してほしい。
- スポーツの大会奨励金が少額すぎる。最低でも他市町と同程度まで増額すべき。
- 議会の情報発信は工夫が必要では。議会だよりは興味がないと見ない。
- 町内に小児科が少ない。
- 高齢化が進んでいるが、移住を促すためにも、企業の誘致などが必要。

## 改善点やご意見等（一部抜粋）

- 気軽にお話できて、とても良かったです。地区の話、子どもの話、日々思っている事を話せて良かったです。
- とても有意義な時間だったと思います。今回参加した母たちが、今日の結果を気にすることで、議会にも関心が持てると思います。
- まわりの声も聞こえて、話が聞きづらかった。

短い時間ながらも、なごやかに話ができ大変良かったと思います。今日の意見が町の行政に反映されていくことを願っております。ありがとうございました。



子ども会育成会  
会長 浅野香子さん



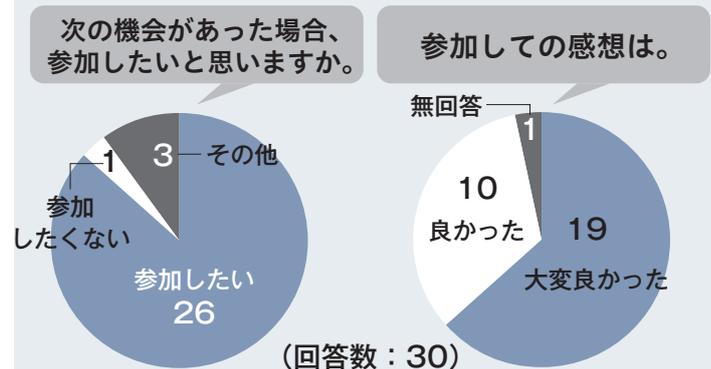
## 【 公共交通・交通安全 】

- ぐるりんこの朝便7時50分を乗り過ごす、高校に間に合わない。通学時間帯に配慮したダイヤ改正を検討してほしい。
- 通学路の草刈りを直ぐにしないと危ない。
- 林崎から向洋中へ向かう田んぼの脇の道がガタガタで危険。
- セブンイレブンからよっちゃん食品に向かう道路の除草が必要。
- 代ヶ崎浜から七ヶ浜中学校に向かう道路の街灯が暗くて、我が子を迎えにきたのに見逃した。
- 高校生が自転車でスピードを出しているケースが散見され、危ない。高校生に対して注意喚起を促す場を検討してほしい。
- ヘルメットの着用も含め、自転車に関して交通安全教室に力を入れてほしい。
- 通学路に蜂の巣が多く、危険。
- 夕見台の道路の木が高く、子どもが隠れてしまう。しっかり刈ってほしい。
- 夕見小・向洋中付近の田んぼ道でスピードを出している車が多く、危険。



## アンケート回答結果

30名の方から回答をいただきました。参加者の多くの方は自分の思いや考えを伝えることができたようです。



# 議案審議

## 安全安心な武道館へ ～武道館耐震化 大規模改修工事～

7年度一般会計補正予算（第1号）は、8811万円を追加し、総額を80億8711万円としました。本議案は原案の通り可決しました。

### 工事請負契約

●7年度武道館耐震化工事及び大規模改修工事

内容  
武道館は築46年を経過し、経年劣化による老朽化が著しい。耐震診断の結果、構造体の耐力が不足していることが判明しており、安全性の確保と機能維持のため必要な改修を図るもの。

- ・契約金額  
1億8216万円
- ・契約先  
株式会社 鈴木工務店
- ・工期  
8年2月27日



安心して利用できる武道館へ

### 質疑

**問** 物価高騰や資材高騰の中で、予定価格より安価になった要因は。

**答** 企画財政課長 直工費は物価高騰により割高になっているが、共通費や諸経費が安価であったため、結果として落札率が下がった。

### ひとこま

「直工費」  
工事現場で直接かかる費用のこと。材料費や人件費、水道光熱費などが含まれる。

### 条例改正

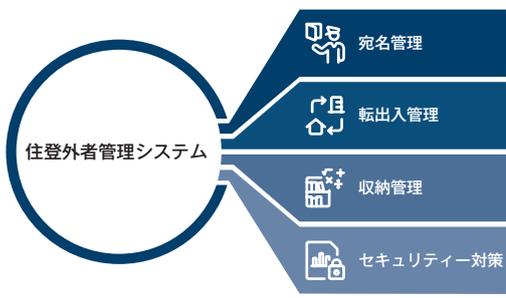
●個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

内容  
標準準拠システムへの移行に伴い、行政手続きで特定の個人を識別するための番号を独自に利用する事務を追加するもの。

### 質疑

**問** 標準準拠システムの導入状況や条例改正の内容は。

**答** 総務課長 ガバメントクラウドの標準化機能の作業は完了した。本稼働は予定通り8月を見込んでいる。



条例改正は、住居・住登外システムに独立した宛名システムが搭載されていたが、これらが標準化されるものである。

**問** 住登外者とは、住民基本台帳に登録されていない人のことだが、具体的にどのような事例が想定されるのか。

**答** このシステムは、町内に土地を所有するが住民票を持たない町外の方々や、転出入を繰り返す場合の管理に必要である。収納管理部門では町外に転出したが債権が発生している場合の宛名管理にも利用される。

### 議員提出議案

●議会基本条例について

内容  
議会及び議員の責務、活動の原則その他議会に関する基本的事項を定めることにより、議会の情報公開及び議会への町民参加を基本とした町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与する事を目的とするもの。

●刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

提案者 佐藤 壮一  
(総務産業常任委員長)

内容  
冤罪は国家による重大な人権侵害であり、その人権救済は国の義務です。しかし、再審制度はあるものの、手続きに関する法整備は不十分です。現在の制度では、再審開始を左右する重要証拠の開示の明文規定がなく、検察官による不服申立てが制度運用に影響を及ぼしており、公平性が損なわれていきます。こうした課題を改善し、冤罪被害者の救済がより確実かつ迅速に行われるよう、証拠開示の法整備を含む再審規定の見直しを強く求めるものです。

提出先  
衆議院議長、参議院議長  
内閣総理大臣、法務大臣  
採決の結果  
いずれも反対なく全会一致で可決

# 地球温暖化対策 実行計画策定へ

## 補正 予算

### ■一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入)

項目	補正額	理由
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金 (国庫補助金)	6,260万円	6年度実施の定額減税給付で所得税および定額減税が確定し、本来受けるべき金額の不足を給付する分に充当

歳出(支出)

項目	補正額	理由
コミュニティ助成事業	250万円	笹山区コミュニティ活動備品購入事業
物価高騰対応重点支援 給付金支給事業 (定額減税不足額給付分)	6,260万円	定額減税不足額を給付するもので 対象者 1,920人 (給付金のほか各種事務費)
地球温暖化対策実行計画 策定事業	1,126万円	国の2050年カーボンニュートラル達成の目標を踏まえ、温室効果ガスの排出量削減に向けた計画(区域施策編)を策定
菖蒲田漁港支障物撤去委託	948万円	支障物撤去の委託料で、漁港内に埋没しているブロック9個を撤去し防波堤まで移設

特集

議案審議

5補正  
月予  
議会

一般質問

委員会  
リポ  
ート

議会  
報告  
会

5月  
会議

人事

前任者の辞職に伴い、議会の同意を得て任命されました。

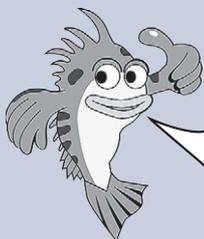
教育長(新任)

大槻 泰弘さん



任期 7年5月16日から  
7年9月30日まで

新しい教育長が  
決まったよ



質  
疑

**問** 教育行政の最重要ポイントに推薦した理由は何か。

**答** 町長 これまで進めてきた英語教育の経過を理解していることや、何よりも町内の小中学校に勤務経験のある方を調査し推薦した。

陳情

●再審法改正を求める意見書の採択

所管の総務産業常任委員会に付託されました。  
(審査結果は5/21)

# 6月会議では9人が質問！！！！



議員は、町が行う取り組み内容や問題に関し、幅広く質問することができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。一般質問は、町民の皆さんの声を届け、議員と町当局が話し合う貴重な機会です。

# 一般質問 町政を問う

## 一問一答方式



質問者の一つの質問に対して答弁者が一つずつ答弁をするキャッチボール方式。



## 一般質問の全容

定例会等会議録

議会だよりに掲載しているものは一部分になります。全部の内容は、数カ月後、ホームページに掲載されます。上の二次元コードからご覧になれます。

## 事前通告



質問内容は事前通告書として提出。事前通告とは、一般質問する項目を町当局に対してあらかじめ伝えておくための制度。

## 一人当たりの質問時間

議員の一人の質問時間が合計で30分まで。  
(町当局の答弁時間は含まず。)



### 鈴木 恵子 …13ページ

- 学校図書室に学校司書の配置を 教育

### 歌川 渡 …14ページ

- 水道基本料金減免の期間延長を 暮らし
- 被災入居者の家賃軽減延長を 暮らし
- パークゴルフ公園の整備を スポーツ振興

### 鈴木 篤 …15ページ

- 中学校の英語学習は 教育
- 西部地区公民館の利活用は 公共施設

### 佐藤 直美 …16ページ

- 部活動地域展開等の取り組みは 教育
- 公衆トイレへ  
ハンドソープ等の設置を 公共施設

### 遠藤 喜二 …8ページ

- ジョギング階段としては 防災

### 熊谷 明美 …9ページ

- エンディングノートで終活支援を 福祉
- 授乳室に搾乳可能表示を 子育て

### 仁田 秀和 …10ページ

- ふるさと納税制度の戦略は 産業振興
- ICT教育の支援体制は 教育

### 鈴木 博 …11ページ

- 妊産婦へ  
ゆずりあい駐車場の周知を 福祉
- 通学路の側溝に蓋<sup>ふた</sup>がけを 交通安全

### 鈴木 洋市 …12ページ

- 道路の計画的修繕とICT活用を 交通インフラ
- 地域経済の基盤強化を 産業振興

特集  
議案審議  
5 補正予算  
一般質問  
委員会レポート  
懇談会報告



えん どう よ し じ  
遠 藤 よ し 二

# ジョギング階段としては

## 町長 災害時の徒歩避難経路である

特 集

議案審議

5 補正予算  
月会議

一 般 質 問

委員会リポート

議会報告  
懇談会

**問** 野山の避難経路は津波避難階段と認識するが。

**答** 町長 災害発生時に、笹山菖蒲田線から生涯学習センターへ最短距離で徒歩避難を可能にし、菖蒲田浜から車で避難したとき、渋滞が発生した場合の徒歩避難経路としている。

**問** 懸込みの高さも踏面も不均衡と直線ではなくS字にした理由は。

**答** 建築物に付属するものではなく、単独で屋外の避難経路階段のため、建築基準施行令の定めを参考に蹴上22cm以下、踏面寸法21cm以上として整備した。

**問** 小中学校や高等学校、公会堂の踊り場は14cm以上、蹴上は16cm以下になっている、担当課では寸法をあたったのか。

**答** 建設課長 設計図を基にして工事の完成検査のときに全部ではないがあつた。

**問** 設計図の審査はどこでしたのか。

**答** 建設課内部で職員同士確認している。特に違和感はなかつた。

**問** 素人が見ても踏み面の幅が全然違う。下は狭すぎる。中間は良いとしても曲がり階段の手前も狭すぎる。職員の中で実際に歩いたり走つた方はいるのか。

今回の質問にあたり、町民の方にご協力をいただいた。健常者の方や足の不自由な方、中学生の男女に歩いたり走つたりしてもらつた。足の不自由な方には自分のペースが上がつてもらつた。健

常者の方や中学生からは運動用にはちよつどいいと、足の不自由な方からは同じ間隔でないとながりにづらいつつと苦情が出た。階段の懸込み寸法が5cm、7cm、13cmと18cmと寸法が違つたが、これの良いものか。一般的な階段は同じ高さと同じ踏み面の広さの方が歩きやすく逃げやすいが、避難道というより、ジョギング階段ではないのか。

**答** 下から駆け上がったが違和感はなかつた。



図面寸法とは違う小さな浸透性集水枘

**問** 手すりならば階段の中央部に設置するが中央部ではなく左側に設置したガードパイプの効果と上部にはガードパイプが設置されていないのはなぜか。

**答** 災害避難時には一時的に通行量の増加が見込まれるため通行の支障となる中央への設置ではなく斜面への転落防止のため設置した。

**問** 打合せ時に担当課から渡された図面だが、集水枘を大きくしてグレーチングを設置し、最初から芝生を敷けばよかったのではないか。

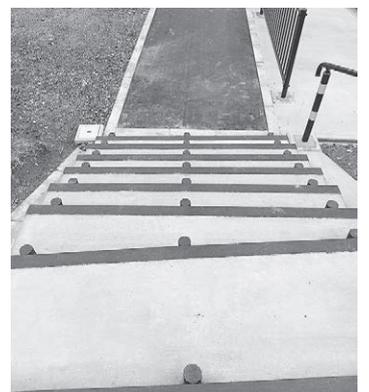
**答** 芝生は見積もりに入つていなかった。樹の大きさは防災対策室と相談する。

**答** 副町長 再度、現場に行つて確認したい。手すりなど来年度に向け、必要があれば修繕や改修を考えたい。

### ひとロメモ

#### 「グレーチング」

主に鉄などの金属で作られた網子状のふた。



踏面も蹴込みも狭く急な階段

**問** 雨水等において豪雨等の推測雨量に適した階段下浸透集水枘の大きさが図面では27cm×34cmとなつているが、測つてみたら21cm×21cmしかないのはなぜか。

**答** 当初の図面かどうか分らない。変更している可能性がある。



くまがい あけみ  
熊谷 明 美

# エンディングノートで終活支援を 町長 法務局作成のものを配布している

**問** 人生のエンディングプランを考え、生前に書き残しておく終活に関心が高まっている。終活は、自身の人生の終わりに焦点を当てるだけでなく、残りの人生をどのように過ごしたいかを考え、目標や計画を立てることによって人生を前向きに豊かにすることができると取り組みである。自身のこれからの人生設計や介護、葬儀、相続、家族への思いなどを書き、活用できる町独自のエンディングノートを作成し、無料配布する考えは。

**答** 町長 町包括支援センター窓口で、仙台法務局などが作成したエンディングノートを希望者に配布している。今後、ニーズ等の状況を見ながら検討項目の一つとしたいが、現時点では作成の考えはない。

**問** やみガイドブックの設置と配布の考えは。

**答** 遺族が窓口にお越しの際には、職員が丁寧な聞き取りを行い、必要な各種手続きを案内している。各課に移動しなくても職員の方が交代することでワンストップと同様の対応をしている。また、主な手続きを示した資料を配布しているが、さらに充実させ、ガイドブックとして作成するよう検討する。

**問** 緊急連絡先や持病、医療情報、葬儀の生前契約、お墓の事など、終活に関する情報を事前に町に登録し、いざという時に対応を可能にする終活情報登録事業の考えはないか。

**答** 町長 長寿社会課長 この事業は、全国的に始まったばかりである。事業自体が必要であるかも含めて検討していきたい。

**問** 親族が亡くなると、さまざまな手続きが必要となってくる。遺族が複雑な手続きを分かりやすく、スムーズに行えるワンストップ窓口の、おくやみコーナーやおく

**答** エンディングノートや遺言書の必要性、書き方、介護、成年後見制度など、終活全般をテーマにした講習会や講

**問** 演会の開催は。

**答** 町長 町成年後見支援センターの設置を進めている。今年度、成

年後見制度に関する講演会を予定しており、終活も検討したい。

## 授乳室に搾乳可能表示を 町長 案内を考えたい

**問** 産後の母親の中には、母乳の保存や乳房の張り防止のために、搾乳を必要とする人がいる。当事者が周囲の理解を得ながら、気兼ねなく搾乳できるように、町の各授乳室に「搾乳できます」の表示を設置する考えは。

**答** 町長 産後間もなく仕事復帰された人や乳児が入院中など、さまざま事情により、外出先で搾乳が必要になる人がいる。乳児と一緒にない場合でも授乳室が利用できる環境を整えることは重要なことであり、搾乳の案内を考えたい。

**問** 授乳中に急に体調が悪くなる場合や、授乳室周りの不審者対策として、授乳室に緊急・防犯ブザーを設置する考えはないか。

**答** 緊急時の安全対策として、設置に向けて各施設の状況に適した方法を検討したい。

**問** まちホームページに授乳可能な施設一覧が載っている。より気軽に利用してもらえようように、地図上に授乳室の場所を表示したりイラストを活用するなど周知の方法を工夫する考えは。

**答** 設置場所の写真を掲載するなど、利用しやすい周知方法を工夫していきたい。



搾乳マーク



表示があると気兼ねなく利用できます

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会レポート

議会報告  
懇談会



仁田秀和

# ふるさと納税制度の戦略は

## 町長 包括的な支援体制を強化したい

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会レポート

議会報告  
懇談会

**問** 本町では、少子高齢化と人口減少が進む中で、持続可能なまちづくりを支える財源の安定確保が重要な課題となっている。ふるさと納税制度は、単なる一時的な寄付収入ではなく、町の強みを生かして、新たな収益を創出し、産業振興や雇用創出、定住促進へと繋げる戦略的な政策ツールとなると考える。町として、ふるさと納税制度に対する考えや目標設定などは。

**答** 町長 この制度は、まちづくりを支える貴重な財源の一つとして重要な役割を担っているものと考えている。本町を応援したいと思っただけのような情報発信や返礼品の魅力を高めるとともに、新たな商品の開発を進めていきたい。また、7年度は、6年度の寄付額の2割増し程度を収入目標とし、段階的に引き上げていきたい。

し、商品化に向けたアドバース等を行っており、販路も商品がより多くの方の目に留まりやすくなるよう、閲覧できるポータルサイトの数を増やしている。地場産業と連動しながら、地域経済への波及効果を高めていけるよう、包括的な支援体制を強化していきたい。

**問** 教育や防災、子育て支援といった目的を明示した寄附メニューを展開する考えは。

**答** まちづくり振興課長 今後勉強したい。

**問** ふるさと納税自販機が注目されている。現地で返礼品を購入し、その場で寄付できる新しい仕組みである。導入する考えは。

**答** 早速調査し、設置の可能性を探りたい。

**問** 制度と連動した拠点整備（開発センター等）や産業振興の可能性の考えは。

**答** 町長 制度自体の将来的な見通しや制度

の見直し等の可能性を含んでいるため、長期的な設備投資は慎重な判断が求められることから、開発センター等の拠点整備は考えてない。町内事業者が持つているノウハウや施設等を利用した新たな商品開発や情報発信など、個別のニーズに対応した柔軟な支援を町として行っていく。このことにより事業の拡大や新たな事業展開など、ふるさと納税制度に限らず、町の産業振興に繋がるものと考えている。

# ICT教育の支援体制は

## 教育長 委託業者と連携する

**問** 教育民生常任委員会では、ICT教育環境の現状に関して、教職員を対象にアンケート調査を実施した。端末不具合時の対応負担やモバイルデバイス管理、フィルタリング設定など技術的支援の不足に関する多くの課題が指摘された。

**答** 現場に即したICT教育体制の構築が求められている。町としての課題認識や現場対応の考えは。

**問** 教育長 端末の不具合は、症状の聞き取りを行い、保守委託業者に連絡し対応している。アカウント等による問題は担当課で対応している。

**答** 教育総務課長 5年度末の更新時にトラブルがあり、負担をかけた。今回は学校に負担をかけることなくスムーズに進めたい。また、ICT推進会議で効果的な導入等の議論を重ねたい。

**問** 学校DX戦略アドバISAの派遣やIGAスクールポーターの配置支援など、国の人的支援に関する補助などの制度を活用する考えは。

**答** 保守委託業者による対応を考えているため、現時点で考えはない。

**問** 端末の持ち帰りに関する不安視する声があるが。

**答** 来年度の持ち帰りに向けてフィルタリングを備え対応したい。また、学校を通じて保護者との連絡などをしっかり行いたい。

魅力が詰まった返礼品を全国へ



子どもたちが安心して端末を使えるよう“見えない助っ人”が必要なんだね。

# 妊産婦へ ゆずりあい駐車場の周知を

## 子ども未来課長 周知を考えていきたい



ひろし 博  
すずき 木 鈴

**問** 町内におけるパーキング・パーミット制度（宮城県ゆずりあい駐車場利用制度）の協力施設や駐車スペースの数は、

**答** 町長 5施設12台分である。

**問** 新たに多目的広場や君ヶ岡公園等、町管理の駐車場にゆずりあい駐車場設置の考えは。

**答** 長寿社会課長 今後どのような施設が指定できるのか考えていきたい。

**問** ゆずりあい駐車場利用証の申請窓口は、本町のほかに、県社会福祉課や、保健事務所8カ所、柴田町、大郷町の各担当課となっている。本町が窓口になった経緯は。

**答** 町長 平成30年度の開始当初は、県が交付事務を行っていたが、利用者数の伸び悩みもあり、4年度に県から交付事務の依頼があった。本町では制度の意義や住民の利便性を踏まえ、県と交付業務に係る協定を締結し、5年度から業務を実施している。

**問** 窓口になることで申請手続きの簡素化など町民の利益となっている。窓口となったことをどのように評価しているのか。

**答** 長寿社会課長 申請者の数が大幅に増えている。町民の方に近い役場が窓口になったのが大きいと考える。

**問** 令和6年の出生数が69人で、妊産婦に対する発行数が4件であり、少ないと感じるが周知方法は。

**答** 子ども未来課長 町広報やまちホームページ、町独自で作成している子育て支援ガイドブックを出生届時に配布し周知している。今後、母子手帳交付時にも周知をしていきたい。

**問** 県の制度なので周知も県がするべきだと考えるが、母子手帳交付時や出生届時、新生児訪問時に口頭で一言添えるだけでも周知や利用の促進になるのでは。

**答** 機会を活用して周知を考えていきたい。

# 通学路の側溝に蓋がけを 建設課長 再度確認し検討していく

**問** 登下校時の児童生徒の安全確保は、教育行政における最重要課題の一つであり、児童生徒の列に車が突っ込むという痛ましい事故の二ユーも頻繁にみつけられる。本町において、ガードレールのない歩道を通路として利用しているケースも多いが、側溝蓋未設置箇所の把握は。

**答** 建設課長 通学路に限定した調査ではないが、未設置箇所は47路線中11路線ある。

**問** 側溝の蓋がけは中長期的な計画を立てているが、優先的に対応する選定基準は。

**答** 蓋の老朽化、けがや事故に関わる箇所が早急な対応が必要だと認識している。

**問** 町道において鉄蓋が設置されている所もみつけられるが交換をすすめる考えはないか。

**答** 町長 鉄蓋が老朽化して危険性が高い場合には、応急的に部分補修を実施しているが、補修で対応しきれない箇所は、将来的に側溝の入れ替えを含めて検討していきたい。

**問** 境山1丁目地区内の町道に、幅員約5メートル、勾配もきつく片側が間知石積みみの擁壁で見通しの悪いカーブになっており、冬季間には凍結も想定されている。汐見小学校に

**答** 建設課長 現状は把握している。緊急性が高いかを再度確認し、今後検討していく。

**問** 町内各小中学校の保護者から、通学路に関する危険箇所の意見や要望の集約方法は。

**答** 教育総務課長 年一回各学校へ危険箇所の点検を依頼しており、保護者からの情報提供を求めている。



子どもたちの足下に潜む危険

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会レポート

議会報告  
懇談会



鈴木 洋 市

# 道路の計画的修繕とICT活用を

## 町長 修繕計画は検討 通報の仕組みは検証



町内各所の路面標示が消えかかっている

**問** 道路の維持管理体制と、点検の頻度や基準は。

**答** 町長 点検は建設課で、月に一度実施している。道路補修が多い地点や過去に道路の内水による浸水、倒木被害のある箇所等を重点的にやっている。

**問** 過去5年間での、道路不具合に関する通報件数と対応状況は。

**答** 通報件数は106件で、105件は不具合を解消している。残りの1件は現在対応を検討中である。

**問** 住宅地における路面表示の劣化に対する修繕や再塗装の頻度と予算は。

**答** 要望等の連絡があり、可能な場合は随時実施している。予算は計画的なものではなく前年度の実績を基に計上している。

**問** 路面表示の不鮮明さが交通安全上のリスクとなっている。重点的な対策が必要では。

**答** 道路標識のある停止線や横断歩道の引き直しは、県公安委員会の管轄となり、基本的に町で実施することはできない。

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会レポート

議会報告  
懇談会

## 地域経済の基盤強化を

### 町長 検討していく

いため、塩釜警察署交通課に要望をしている。町で対応可能な部分は、相談し対応している。随時修繕を実施している。経年劣化で不鮮明な部分が増えつつある状況である。交通安全協会などの協力をいただきながら計画的な修繕も検討していく。

**問** ICTを活用した道路不具合通報アプリ等、住民が簡単に道路の不具合を通報できる仕組みを導入する考えは。

**答** 現時点では、町独自の道路通報アプリを導入する予定はない。県のインフラ情報通報アプリをまちホームページで紹介するなど、住民が簡単に通報できる仕組みを検証していきたい。

**問** 商工業事業者の現状や課題をどのように把握しているか。また、国や県の支援策の活用状況をどう分析しているか。

**答** 町長 多賀城・七ヶ浜商工会の景気動向調査に関する報告書等の情報により把握している。6年度では、物価や原材料の高騰、慢性的な人手不足など、事業継続や拡大を大きく阻害する課題もあり、地域経済全体への影響が懸念されている。支援策は一定の活用があること把握している。

**問** 国や県の補助金制度に対する町としての事業者への取り組みは。

**答** 円滑に制度利用できるように、連携しながら対応している。引き続き、専門的な知見を有する商工会の経営指導員の方々より、事業者の経営安定や事業承継などのアドバイスや助言をいただきながら支援等の連携を高めたい。

**問** 地域経済の持続可能性をどのように確保していく。

**答** 七ヶ浜町中小企業・小規模企業者振興基本計画（6年度～10年度）に掲げる、地域の資源を活かした産業振興や事業承継、創業支援など中長期的に進めていく。町内事業者の経営基盤を強化するためには、地域全体で支え合う仕組みづくりが重要である。関係機関との連携を密にし、社会変化に対応できるよう改善や工夫を重ねていく。引き続き、町内事業者の成長発展と事業の持続的発展、地域経済活性化を図っていく。

**問** 事業承継や創業支援者として、新たに創業者を呼び込む支援策を講じ、事業者とのマッチングをさせ後継者不足の解消につなげるなど、新たな支援策の構築が必要と考えるが町の考えは。

**答** 社会経済の変化に応じて、事業者や創業者の支援強化策を検討していく。

# 学校図書室に学校司書の配置を

## 教育長 努力義務と規定されている



すずき けいこ  
鈴木 恵子

**問** 平成7年頃は図書係  
雇い上げ賃金として、  
平成30年も図書事務員と  
して予算が計上され、各  
学校の図書室は毎日開か  
れていた。その後、会計  
年度任用職員として計上  
され、5年度からは小学  
校3校に1人、中学校2  
校に1人の配置となり、  
図書室は毎日開館されな  
くなった。図書室が開か  
れている頻度と時間帯は  
どのような状況か。

**答** 教育長 小学校は、  
業間の休み時間と昼  
休み時間を中心に、中学  
校は、週2日および隔週  
の月曜日、昼休みに開放  
している。

**問** 図書室のあり方の判  
断は。  
**答** 教育総務課長 各学  
校の先生の配置と工  
夫で、それぞれの学校で  
違っている。

**問** 毎日開かなくてもよ  
しとした理由は。  
**答** 教育長 司書教諭が  
配属されているが、担  
任が兼ねていることが現  
状で、業間や休みの時間  
に開けられない現状と

なっている。図書委員会  
が図書貸し出しをしてい  
る学校もあるが、混乱も  
ある。国語の授業時間で  
使っている学校もある。

**問** 令和元年度から5年  
間の児童生徒への図  
書の貸し出し数と、一人  
当たりの冊数は。  
**答** 約17万冊で、一人当  
たり約25冊である。

**問** 以前と比べ、少なく  
なっていると感じる。  
自由に活用できるよう  
な図書室とはかけ離れて  
いる運用による事が読書  
離れの要因ではないか。

**答** 書籍もデジタル化が  
進み、徐々に紙媒体  
のものから離れて  
いく傾向がある。ブルー  
ライト等で、睡眠がよく  
取れなかったり、落ち着  
きがないところに繋がっ  
ていく等の弊害が考えら  
れ、紙媒体の再確認のよ  
うな動きも出てきている。  
紙媒体離れが進んでいる  
状況を改めて見直しなが  
ら、必要に応じて子ども  
たちの様子を見て、図書  
室のあり方を考えていき  
たい。

**問** 令和元年度から5年  
間に支出された図書  
購入費と冊数は。  
**答** 図書購入費は、約5  
70万円で、約3千  
冊である。

**問** 図書購入にあたって  
は、司書教諭の意見  
や児童生徒の要望も踏ま  
えての図書の冊数と種類  
になっているか。  
**答** 教育総務課長 児童  
生徒の意見を聞きなが  
ら購入しているものと  
認識している。

**問** 平成7年度との比較  
になるが、児童図書  
購入費が161万8千円  
から、6年度は51万円ま  
で減額。生徒図書購入費  
に至っては201万8千  
円から42万円まで減額し  
ている。毎年減額されて  
いるが、減額の計画でも  
あるのか。

**答** 図書購入費の予算の  
計上は、基礎額、プラ  
ス児童生徒数に単価を掛  
けて予算化している。児  
童生徒が少なくなれば少  
なくなっていく。

**問** 児童生徒数の減少を  
上回る図書購入費が  
減る計算はどうなのか。  
**答** 副町長 4月1日予  
定の児童生徒数で算  
出している。また、予算  
化に至っては、交付税の  
措置の仕方がかなり変  
わってきた。それに添っ  
た積算による予算措置を  
している。

**問** 学校の図書室に学校  
司書を配置する考え  
はないか。  
**答** 教育長 学校図書館  
法には、配置は努力  
義務と規定されている。

**問** 学校司書を配置する考  
えはないか。  
**答** 教育長 図書を見直  
す機会を多く持つて  
いきたい。その中で、教員  
の意識や子どもたちの意  
識を確認しながら、図書  
室の活用を積極的に推進  
していきたい。

**問** 学びをサポートして  
いく学校司書、また  
は図書係の事務員を配置  
する考えはないか。  
**答** 副町長 予算編成時  
に、図書係の配置を  
削るなど、査定した記憶  
はない。会計年度任用職  
員として、学校に何名必  
要か、協議して配置して  
きた。教育関係の予算は、  
現場の話をよく聞いた上  
で措置をしている。

**問** 学校司書を配置する考  
えはないか。  
**答** 教育長 図書を見直  
す機会を多く持つて  
いきたい。その中で、教員  
の意識や子どもたちの意  
識を確認しながら、図書  
室の活用を積極的に推進  
していきたい。



毎日利用できる図書室を

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会リポート

議会報告  
懇談会



うたがわ わたる 歌川 渡

# 水道基本料金減免の期間延長を

## 町長 独自の免除延長は考えていない

**問** 政府に対し、価格高騰に対する支援交付金を求める考えは。

**答** 町長 県町村会で継続要望して調整している。

**問** 6年度末の現金預金額と起債残額、減価償却費は。

**答** 現金預金額は約15億9331万円、起債残額はなし、減価償却費は約1億2936万円である。

**問** 減価償却費は起債残額(借金)の返済に充当できるのか。

**答** 使用することは可能である。

**問** 平成22年度より4度の広域水道の受水料金が引き下げられた総額は。また、1世帯に換算する金額は。その金額を減免に充当する考えは。

**答** 総額は約4億7千万円で、1世帯あたり約6万7千円である。また、充当する考えはない。

特集  
議案審議  
5 補正予算  
月会議  
一般質問  
委員会レポート  
議会報告  
懇談会

**問** 広域水道からの受水料金引き下げ額の歳入の充当先は。

**答** 受水費が減少した額を他の費用に当てたつもりはない。

### 被災入居者の家賃軽減延長を

**町長** 7年度末以降継続の考えはない

**問** 6年度末の災害公営住宅維持管理基金額はいくらか。

**答** 町長 約23億2800万8千円である。

**問** 町営住宅建設額の復興交付金額と、町借金となる起債額、負担割合は。

**問** 一般公営住宅で同様の建設をした場合の交付金および町借金となる起債額、負担割合は。

**答** 総額は約60億7014万円。復興交付金53億685万円(87.4%)起債と一般財源で約7億6330万円(12.6%)。



安心して住み続けられるために

木造1LDKの場合		
	軽減された現在の月額家賃	8年度以降の家賃額
①	4,500円	14,600円
②	7,600円	
③	10,700円	
④	13,800円	
		上昇率
		3.24倍
		1.92倍
		1.35倍
		1.05倍

**答** 交付金は補助率2分の1で約30億3507万円である。地方債(起債)も約30億3507万円となる。

**問** 現在の災害入居者世帯数は。退去した世帯の主な理由は。

**答** 130世帯。介護施設等入所、死亡が主である。

### パークゴルフ公園の整備を

**町長** 整備の考えはない

**問** ながすか多目的広場の建設の際、パークゴルフができるエリア設置の要望が出されていたが、パークゴルフを愛好する方への利用施設の対案を行ったのか。

**答** 県内のパークゴルフ場に行っていると聞いている。

**問** ながすか多目的広場の西側の事業計画は。

**答** イベント時の関係者駐車場等に使用している。

**答** 町長 広場の形状の変更になることから、使用禁止を伝えた。対案はしていない。

**問** 七ヶ浜パークゴルフ協会の活動で、練習・交流としている利用施設を周知しているか。

**答** パークゴルフ公園と公園に改修する考えは。西側をパークゴルフとして整備、改修する予定はない。



鈴木 篤

# 中学校の英語学習は

## 教育長 受験英語としても進化させたい

**問** 中学校の英語学習において6年度まで実施されていた「七ヶ浜5ラウンドシステム」の成果は。

**答** 教育長 中学生が声を出して、英語を楽しく学ぶ姿が見られ、小学校の英語活動と繋がる流れもあった。教員が意欲的に取り組めたことも成果だと感じている。

**問** 一方で、課題もあると思うが。

**答** 英語が好きで生徒は増えたが、受験教科としての英語という側面から、点数に結びつきの不安が生じている。

**問** 宮城県公立入試の英語の平均点や、それに対する本町の受験生の平均点などは把握しているのか。

**答** 教育総務課長 把握していない。

**問** 課題だと感じているのであれば、宮城県公立入試の英語の平均点や町内の平均点など状況を把握した上で、対応するのが必須だと思つが。

**答** 教育長 指摘の通りである。分析の足りない部分があった。データと照らし合わせながら、今後の指導に活かしていきたい。

**問** この学習法の肝は、単元の学習目的の明確化と反復だとされている。そして何より大事なことは、そのことを教員に意識してもらつたことだと思つが研修体制は。

**答** 学習法の捉え方自体が、教職員の中でなかなか曖昧になつてきている部分があるため、その確認から始めていく。確認から始めていく。楽しく声を出して活動できる姿を保ちながら、受験英語としても自信を持つて指導できるように進化した形の実践を進めていきたい。

公立高校入試の英語平均点	
R2年度	46.1点
R3年度	54.7点
R4年度	57.1点
R5年度	50.4点
R6年度	55.5点

## 西部地区公民館の利活用は 教育長 利用者とは話し合う機会を持ちたい

**問** 7年度になつてからの利用状況は。

**答** 教育長 4月から新たに2団体が利用を始めている。

**問** 新たに利用を始めたチームは、地元出身の若い子どもへの指導も視野に入れておられると聞いている。地域力の構築、世代間交流に寄与する活動であることから、町としてできる限り支援をするべきであると思つが。

**答** 施設を廃止する前提にはなるが、利用する団体との話し合いの機会を持つていきたいと考えている。

**問** 西部地区公民館ではなく、アクアリーナや小体育館の利用を促すための話し合いという意味か。

**答** 生涯学習課長 修繕は行わないが、利用者が増えたこともあり、

利用者から前向きに話を聞きたいと考えている。

**問** 8年3月末までの使用禁止の部分に関しては、使える形がないか前向きに検討するという認識で問題ないか。

**答** 教育長 大規模な修繕は行わないが、利用する際の最低限の部分は考えていきたい。

**問** 町内で最も人口の多い遠山地区において、避難所は1カ所である。防災のバックアップ機能の面からも、西部地区公民館を修繕し、利活用すべきだと考えるが。

**答** 教育長 遠山地区においては、遠山地区避難所の他に、汐見小学校と向洋中学校が拠点避難所に指定されている。今後、避難所として修繕する計画はない。

**問** 前段で回答した通り、大規模な修繕は考えていない。学校の判断にはなるが、部活動を校外で行うとなると難しい部分もある。



若い世代も利用しています

# 部活動地域展開等の取り組みは

## 教育長 委員会立ち上げの準備を開始する



佐藤 直美

特集

議案審議

補正予算  
5月会議

一般質問

委員会リポート

議会報告  
懇談会

**問** 県は、10年度中を目標に、公立中学校で休日の部活動を原則行わない方針を示した。国は、13年度までに、原則休日の部活動の地域展開実現を目指す等とする、部活動改革に向けた最終の取りまとめを行った。

**答** 現時点でどのように進めていくかも合わせて、町の取り組みや考えは、

**問** 鑑みて、8年度より、部活動の地域展開地域連携を検討する委員会の立ち上げに向けて、今年度より準備を開始する。5年度に行ったアンケート調査を活かしながら、先進地の情報収集や関係団体との意見交換なども行っていく。必要に応じて追加のアンケートを実施することも考えている。

**問** 生徒数の減少や部活動が任意参加に切り替わったこともあり、今後廃部になってしまう部活もあるのが現状である。七ヶ浜中学校、向洋中学校間で週末一緒に活動している部活もある。しかし、平日も一緒に練習で

きる環境作りや、生徒の移動の支援が全く足りていない。生徒が望む部活で活動できるよう、町として支援すべきだが、取り組みは。

**答** 平日は各学校で練習をして、土日には合流し練習している。その際の移動は、生徒の発達段階からみて、自力が望ましいと考えており、保護者の送迎は、各家庭の事情によるものと考えている。

**問** 中総体や新人戦は、仙台北地区での開催となっている。移動範囲も広がっているため、移動費が以前よりも増えている。現地集合、現地解散とならないように、さらなる支援が必要だが、町として行っている支援や今後の取り組みは。

**答** 現地集合、現地解散を原則として考えている。開催が大きくなりとなり、県の方針が出されてからは、大会の移動が現地集合、現地解散が主流となってきた。

# 公衆トイレへハンドソープ等の設置を

## 副町長 実態調査をし設置するか考えたい

**問** スポーツ施設や公衆トイレのハンドソープ、ペーパータオル、ハンドドライヤーの設置状況は、未設置の場合、設置する考えは。

**答** 町長 スポーツ施設の中でアクアリーナは、ハンドソープとハンドドライヤーが設置されているが、公衆トイレには、ハンドソープ等が未設置である。いたずらや盗難が予想されるため、設置は難しい。

**問** 盗難が心配であれば、ハンドソープディスプレイを設置し、盗難されないようにするべきでは。

**答** 建設課長 どのようなやり方をしても盗まれるときは盗まれてしまう。実際トイレトペーパーでさえ外されて水洗に流されて詰まってしまう状況もある。

**問** 置型授乳室が設置された、ながすか多目的広場のトイレにもハンドソープが設置されていない。授乳や搾乳する前に、ハンドソープでよく手を洗ってから行うのが基本だが。

**答** 副町長 置型授乳室は設置したばかりで、今どこにハンドソープが設置されていないのか全部把握しているわけではない。実態調査をして、設置するか考えたい。設置することは可能かと思う。

**問** 公共施設や学校施設でのAED設置状況は、未設置箇所がある場合、設置する時期は。

**答** 町長 役場や生涯学習センター、国際村、スポーツ施設、学校、遠山保育所等の施設に合計29台設置している。未設置の施設は、ほとんどが設置している施設と同じ



授乳やごはん前はハンドソープで手洗いを

# 教育民生

● 学校施設の調査を実施  
6月10日、11日の2日間で、各小中学校の施設を現状調査しました。

## 主な問題点

### 【体育館&プール】

- エアコンの設置が必要
- 窓やアリーナ部分のスライドドアに網戸が必要
- AED未設置のため、設置が必要
- バレーボールのポールなど、備品が古すぎる
- 重くて危険なため新調すべき
- プールのシャワー部分のバルブが破損しているため修理が必要

### 【校舎】

- セキュリティーの観点から門扉の設置が必要
- 教室や職員室、廊下の電気が暗い、または点灯しない。早急に修繕しLED化するべき
- 多目的トイレ(2階)までの動線がないため対策が必要
- フラッシュバルブが故障している。車椅子の児



早急な対応を

● 放課後児童クラブ施設の調査を実施  
まつかぜ放課後児童クラブ別館やはまぎく放課後児童クラブ別館、さくら放課後児童クラブも視察しました。

## 主な問題点

- 室内に段差がある
- 夕方になると足元から冷える。これから暑さ寒さが心配。対策は
- 声が響きやすく子どもたちの声や電話の声も聞こえづらい。対応が必要
- マットが薄すぎるのではないか。対応策を考えるべき
- 砂利が敷かれている部分で遊ぶことが多いが走ると砂利で滑って転んでけがをしてしまうことが多い。子どもが遊べる状態にする必要があるが対応策は考えているのか

### 【雨漏り】

- 校舎内廊下や多目的トイレ、給食の保管庫など、そして体育館内にも至る所に剥離が見られ、壁のクラックから水の浸透が見られる。雨漏りの原因不明箇所もあるため早急に調査し修繕が必要
- 屋上の防水劣化による雨漏りの可能性があるため防水工事が必要

# 総務産業

6月30日に、岩手県陸前高田市を訪問し、ふるさと納税(返礼品)拡充の方策に関して視察しました。

## 主な問題点

- 陸前高田市では、平成20年度から直営によるふるさと納税事業を開始し、平成27年度からは中間業者を導入して実施しています。5年度には、寄付額が10億円を超えており、返礼品業者は150社、返礼品目の登録数は約千品目にものぼります。
- 返礼品の梱包作業は、障害者施設に委託することで、工賃アップなど、就労支援につながっています。

# 議会活性化

● 七ヶ浜町議会基本条例を制定  
当委員会では、本町議会にふさわしい基本条例のあり方や制定の是非も含め、議会の現状や将来像を踏まえながら慎重に検討を重ねてきました。

● 7ヶ浜町議会基本条例を制定  
定例会(6月会議)にて本条例を上程し、全会一致で可決されました。

● 7ヶ浜町議会基本条例を制定  
今後は、制定された条例の理念に基づき、より丁寧で信頼される議会運営を進めてまいります。

● 7ヶ浜町議会基本条例を制定  
なお、条例全文は、議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



先進地の手法を学ぶ

## 【前号の訂正とお詫び】

9ページ七ヶ浜縦断線工期「7年3月31日」↓「10月30日」、10ページ「7年度一般会計補正予算」↓「6年度」、16ページ町長回答「石組み」↓「碑」が正しい表記です。  
訂正しお詫び申し上げます。

# 懇談会を開催

5月15、17、18、21日に、第23回議会報告・懇談会を地区ごとに開催し、98人の皆さんからご意見・ご要望をいただきました。皆さんの声は、今後の議会活動で、さまざまな形で活かしてまいりたいと思います。

今回は、複数の地区からいただいた声を一部抜粋して掲載いたします。

## 意見・要望はどうするの？

### 議会では・・・

一般質問や予算・決算審査特別委員会等で町に問いただします。また、各委員会で所管事務として調査します。町民の皆さんには、議会だよりやホームページに掲載し、そのほかに区長へ報告書を提出しております。

### 町には・・・

各課を回り、内容を確認します。各地区から出たご意見・ご要望を町長に報告書として提出しています。



## 〔定例会6月会議での一般質問〕

- ・七ヶ浜にふるさと納税をしてくれる人が減少している。ふるさと納税の収入を増やす工夫を。
- ・教育現場でのICT導入に関して、センターサーバー方式では無理がある。クラウド方式など見直すべき。学習アプリの導入を積極的にすべき。セキュリティー面から、購入ではなくリースにすべき。
- ・菖蒲田海水浴場トイレは冬季閉鎖されているが解放しては。
- ・路面表示が消えてしまっているところが多い。対応してほしい。



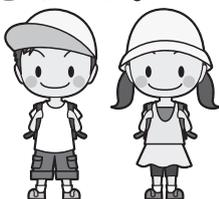
全てのご意見・ご要望は、二次元コードから是非ご覧ください。



# 議会報告

## 学校教育・通学路

- ・教育現場で使うシステムは、県内で統一した方が良いのでは。
- ・小学校統合も含め、小中一貫校を考えないのか。
- ・学習用タブレットは、学校に来ることができない児童生徒も使用できるのか。
- ・通学路で事故が多い歩道の縁石を高くしてほしい。



## 防犯・防災

- ・防犯カメラは人が多いところだけではなく、高齢者が利用する場所や通学路、人目が届きにくい場所、他の交差点への設置も考えるべき。
- ・5台では少ない。「防犯カメラ設置」の表示も必要。
- ・ながすか多目的広場の管理棟に、津波避難のための2～3階建て鉄骨避難タワーの設置を。



## 敬老会

- ・助成金を出して、各地区での開催を検討しては。
- ・75歳を対象にアンケート調査をしているが幅広く意見を集めるべき。
- ・名簿は楽しみにしている人もいるので、作成し配布してほしい。
- ・敬老祝い金は現状のままよいのか。



## 公共交通・交通安全

- ・代ヶ崎浜から漁協までの経路がない。学校統合などを見据えて、ぐるりんこの効率的な運行と路線の検討を。
- ・免許返納者に対する、ぐるりんこ無料乗車は、1年だけでは短い。
- ・地区に助成金や委託金を出して、カーシェアリングして運営するなどの考えはないか。
- ・ヘルメットの補助金を増やすべき。全額補助でも良いのでは。

# 舞台上で輝く三姉妹

七ヶ浜国際村を拠点に活動するミュージカルグループ「NaNa5931」で活躍中の伊藤三姉妹、写真左から長女・笑美歌さん（高校1年生）、次女・友美歌さん（中学1年生）、三女・菜美歌さん（小学4年生）にお話を伺いました。稽古に励む日々や、七ヶ浜への思いを語ってくれました。



🎤 ミュージカルに参加するようになったきっかけを教えてください。

長女：仲の良い友達に誘われて入団しました。小学5年生から続けています。  
次女：姉が入るときに一緒に入りました。  
三女：2人の姉と一緒に年少のときにキッズクラスに入団し、一時退団しましたが、2人の姉のかっこいい姿を見ていたので1年生から再び始めました。

🎤 NaNa5931 の活動の中で、思い出に残っていることや印象的な出来事はありますか？

長女：毎年11月の本公演が印象に残っています。  
次女：毎年やっている11月の公演が、一番印象に残っています。  
三女：「動物の謝肉祭」という曲です。動物になりきって踊ることは難しいと感じましたが、音楽から動物の様子を想像して踊ることがすごく楽しかったです。

🎤 普段の練習や舞台に向けて、どんなことを心がけていますか？

長女：その週に稽古で教わったことを次の週までにできるように妹と一緒に練習をしています。  
次女：お稽古場で教えていただいたことを忘れないように家でも練習をしています。  
三女：アドバイスしていただいたところを次の週まで直せるように家でも練習をしています。

🎤 将来の夢や今後挑戦してみたいことをぜひ教えてください。

長女：今年の11月の公演に向けて、ダンス・歌のレベルを上げることができるよう、稽古に取り組みたいです。  
次女：11月の公演に向け、レッスンを取り組んでいきたいです。  
三女：私の将来の夢は、女優です。ミュージカルで教わったことを活かしてお仕事をしたいです。今後挑戦してみたいことは、アクロバットです。ミュージカルで体も柔らかくなったので、ぜひやってみたいです。



🎤 最後に、七ヶ浜町に関して思うことを聞かせてください。

海もあって自然豊かな素敵な町だと思います。ただ、交通の便が悪く、町外の友達を公演に誘いにくいので、国際村などでイベントがある際には、ぐるりんこの臨時便を出すなど、改善してほしいです。  
また、NaNa5931は、一緒に舞台に立つ仲間を募集しています！子どもから大人まで、どなたでも大歓迎です！

## 〈議会を傍聴しませんか〉

どなたでも自由に、見たり聴いたりできます。

### —9月会議は9月1日開会予定です—

詳しくは議会事務局（TEL357-7435）  
または、議会ホームページ  
「七ヶ浜町議会情報」をご覧ください。  
<https://www.shichigahama.com>



## 〈今号の表紙〉

今回の表紙は7月2日に行われた子ども会育成会さんとの「Café de まちトーク」のワンシーンです。「子育て」をメインテーマに多くのご意見をいただきました。



今年の夏も連日暑い日が続いておりますが、皆さん！体調管理は十分でしよつか。



## 編集後記

議会は常に町民の皆さまの代表として、議会の見える化や活性化に全力で取り組んでいます。今回の紙面は、初の試みである「Café de まちトーク」の様子や議会報告会の内容を主に掲載いたしました。子ども会育成会さんとは「子育て」をメインテーマに、闊達な懇談ができました。町民の皆さまの声を、お聞きし、活かしていくことは大切なことと考えております。今後も充実した紙面づくりに努力してまいります。

熊谷 明美

副委員長 熊谷 明美  
委員 仁田 秀和  
委員 熊谷 洋美  
委員 鈴木 明和  
委員 鈴木 洋美  
委員 鈴木 洋美

発行責任者 安倍 敏彦

議長 佐藤 直美  
副議長 鈴木 直美  
委員 佐藤 直美  
委員 鈴木 直美  
委員 鈴木 直美



七ヶ浜町議会Instagram公式アカウント  
←本会議や委員会などの活動情報を発信しています。  
Please follow us!

この議会だよりは6700部印刷し、一部当たりの印刷費用は38.28円です。